

第 2 回 新 町 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑（質疑なし）

報告事項に係る質疑（質疑なし）

その他の質疑

内 容 区 分	No.	質 疑	回 答
新町地域の防災・水害対策について	1	<p>新町地域は、烏川や神流川、温井川など河川に囲まれており、水害が起きる可能性は、極めて高く、堤防が決壊すると、新町地域の3分の2が、50cmから5mの浸水地域になると考えられている。</p> <p>現在の水防倉庫は、浸水地域にあるので、標高の高いJR高崎線の南側に新たな防災倉庫が必要だと思う。</p>	<p>現在の水防倉庫は、浸水が想定される地域にあるため、標高の高いJR高崎線の南側へ移設することが望ましいと考えている。</p> <p>移設場所等の問題もあるので、今後、消防方面隊など関係機関と検討したい。</p>
	2	<p>水害が発生した場合は、いつの時点で避難をするのか。</p>	<p>避難勧告、避難指示等を発令後、速やかに避難して下さい。</p> <p>また、自身の状況に危険を感じた場合は、自己の判断により、速やかに避難して下さい。</p>
	3	<p>避難の連絡方法、周知の方法はどのように行われるのか</p>	<p>災害時の避難連絡方法については、防災行政無線、広報車等を考えているが、水害時は、雨、風により窓や雨戸を閉め切っているため、聞き取りにくい状態であると思われるので、市の安心ホットメールやその他の方法を検討していきたい。</p>
	4	<p>自力では避難できない、要援護者に対してどのような対応を行うのか。</p>	<p>国のガイドラインにおいては、要援護者1人に対して、2人の避難支援者を登録することとなっているが、避難支援者が近隣にいない場合の対応など様々な課題があると思われるので、今後、検討していきたい。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
新町地域の防災・水害対策について	5	住民に対して、防災意識の啓発や、避難訓練などが必要だと思うが。	今年度、第7区、第10区において、住民を対象とした避難訓練を実施している。 今後は、関係機関と検討しながら、新町地域全体での避難訓練などに取組むと共に、防災意識の啓発を推進したいと考えている。
	6	警報などが発令された場合の新町支所の対応はどのようになっているか。	地震の場合は、震度4以上、水害の場合は、警報が発令された段階で登庁し、待機することとなっている。
	7	水防団と消防団の違いは何か。	高崎市を含め、多くの自治体では、消防団と水防団は兼務で対応している。
	8	9月の大雨により、温井川の堤防が一部、削り取られたが、今後の対応はどのようになっているのか。	現在、被害が拡大しないように、コンクリートで固めるなど、応急処置をしている。 今後は、湯水期に、国土交通省により、原因究明をした後、地域への説明が予定されている。